



©岡山県「ももっち・うらっち」

人づくり
産地づくり
ブランドづくり

くらしき 普及指導センターだより 2016



岡山県備中県民局農林水産事業部
備南広域農業普及指導センター

目次

特集 育てよう！水田農業の担い手

- 1 育てよう！集落営農・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 儲けよう！個別経営体・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 3 工夫しよう！栽培技術・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

力入れています！

- 未来へ引き継ぐ 岡山の宝・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 美味しいシャインマスカットを消費者に・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- もも新型選果機導入！・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- 夏は白桃、秋も白桃、冬にも白桃・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- 「連島ごぼう」の躍進に向けてがんばっています！・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- 金時人参、再出発！・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- 白ねぎ栽培者が増えています！・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- スイートピーの生産振興を目指して・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- 農業経営の改善・工夫を応援します・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- 「初心者講座」で農家の6次産業化、進めます！・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- 就農目指して、がんばれ！・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
- 秦地区の農業研修始動！・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
- “ウインドレス鶏舎”で安全・安心・安定が加速！・・・・・・・・・・・・・・・ 12

ご存じですか？

- 緑肥を利用するお米の施肥設計ソフトが開発されました！・・・・・・・・・・・・・・・ 12

受賞おめでとうございます・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

新しく農業始めます！どうぞよろしく・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

〈表紙写真の説明〉

- (上) 会員相互の受委託によるイネWCS収穫
(吉備路水田農業大規模経営体ネットワーク)
- (左下) 桃の摘果講習
- (右下) 小豆のコンバイン収穫

〈裏表紙写真の説明〉

- (左上) 紫苑／支援できました！圃場巡回
- (左下) ごぼうの食育授業
- (右上) 農業後継者クラブ員による就農相談
- (右下) 入学式にスイートピーをプレゼント
(船穂町農業後継者クラブ活動)

特集 育てよう！水田農業の担い手

1. 育てよう！集落営農

(1) 集落営農の法人化・組織化を支援

倉敷地域には、総社市・倉敷市真備町に集落営農組織が17組織あります。

普及指導センターは、市、農協等と支援チームを結成し法人化活動をサポートしており、23年以降6組織が法人化しました。

28年は、上楨谷営農組合が法人化準備会を立ち上げ、法人化に向けた活動を支援しています。

また、集落営農を始めたい地区には、アンケートによる意向調査や合意形成をお手伝いしています。



「上楨谷営農組合 法人化準備会」の様子

(2) 「吉備路水田農業大規模経営体ネットワーク(43経営体)」の活動を支援

吉備路ネットワークは、集落営農等14組織、個別経営体29戸からなるネットワーク組織です。研修会や情報交換等により、施策の周知、技術の普及と機械や人材を貸し借りするなど困ったときの「助け合い」「相互研鑽」を基本に活動しています。

「個人対応で困難なことは、ネットワーク組織で取組む」という方針のもと、27年から飼料用米 SGS 生産を始め、28年は早生品種も導入し、約100haまで規模が拡大しました。耕畜連携により所得を確保するため、作業体系の構築に苦慮しながらも、収穫後の稲わら収集にも取り組んでいます。



定例会の様子

年数回の定例会(研修)は、会員からのアンケートを反映したタイムリーな研修になるように役員で知恵を絞り企画しています。

28年は、新たな活動として、県下の優良な経営体を訪問し「人材育成や農地管理手法、6次化の取組み」など、農業経営に生かせる有益な情報提供を行うなど、普及指導センターはネットワークの活動を支援しています。



「優良経営体」で情報収集

特集 育てよう！水田農業の担い手

(3) 「後継者の確保・育成！」を支援

集落営農組織では、役員の高齢化で「後継者の確保・育成」が、最も重要な課題となっています。

奈義町のネットワーク組織「奈義アグリネット」との意見交換や、備中地域の集落営農組織でのワークショップなど、集落営農の現状や課題、今後の取り組みなどを意見交換できる「場づくり」を行いました。

また「後継者確保が緊急の課題」と再認識した集落営農法人で開催したワークショップで、「組合の活動を知ってもらおう」「地域コミュニティともしっかりと交流が必要」などを確認し、地域住民を対象とした「枝豆の収穫体験等」の開催を支援しました。

さらに、経営や技術がスムーズに継承できるように農地情報や作業記録を整理し、見える化するツールとして「ほ場生産管理システム（PMSやフェースファーム生産履歴）」の試験導入と活用を進めています。

このような取り組みをネットワーク定例会で紹介し、担い手確保に向けた積極的な取り組みが、地域全体に広がるように支援しています。



奈義アグリネットとの情報交換



ワークショップで「対策」等を抽出



地域コミュニティとの交流イベント
(枝豆の収穫体験等)



PMSの試験導入を支援



フェースファーム生産履歴の導入を支援

2. 儲けよう！個別経営体

倉敷地方稲作研究会は、倉敷地域の規模拡大志向経営体23戸で構成された研究グループで、研修会や視察等を行っています。

普及指導センターは、規模拡大や省力低コスト化等による経営発展を推進するため、研究会の活動支援、経営指導、ICT^{*1}導入支援を行いました。

(1) 稲作研究会の活動支援

総会、ICT研修、会員相互訪問研修（総社市）、先進技術研修（水稻密苗栽培^{*2}、緑肥活用技術等）及び先進経営体視察研修（美作市）等を実施しました。今後も研究会員の経営発展のために各種技術・情報等を提供します。



総会・ICT研修



会員相互訪問研修



先進技術研修

(2) 経営指導

会員2戸に農業経営コンサルティングを実施し、中小企業診断士の協力を得て、経営分析を行い、法人化後の経営改善に向けた課題の整理を行いました。



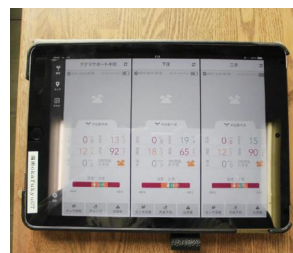
経営コンサルティングの実施

(3) ICTの導入支援

研究会員が管理している4ほ場に水位センサーを設置し、水管理の省力化の実証を行いました。水位センサーは水田の水位をインターネットを経由してタブレット端末でリアルタイムで確認できるため、遠隔にある水田に設置することで不要なほ場の見回りを省略でき、水管理の省力化が図れます。



ほ場に設置した水位センサー



タブレットで水位などを確認

※1 コンピュータ等を活用し、栽培環境情報データ等を把握し、生産管理の適正化・省力化を図る技術

※2 1箱当たりの播種量を従来の2～3倍に増やすことで育苗期間短縮と育苗箱数低減による省力化を図る栽培

3. 工夫しよう！栽培技術

吉備路ネットワークや稲作研究会を中心とした取り組みとして、飼料用米(多収性専用品種)特認品種の中生新千本の栽培や飼料用米 SGS の生産・製造などが始まりました。経営安定のため一層の規模拡大とコスト低減が求められています。

普及指導センターでは、水稻、大麦の省力技術や安定生産技術の提案を行いました。

(1) 水稻直播栽培技術の普及

直播栽培技術は、育苗作業の軽減と作期分散による規模拡大が可能な省力技術として、JA出資型法人の他、集落営農組織や個別経営体でも導入されています。

普及指導センターは、スムーズに技術導入ができるように、実証ほでの水管理や除草対策など、適正な栽培管理を指導しました。

また、直播栽培で安定生産するためにレーザーレベラーを用いた均平作業の実演を行いました。ほ場を均平にすることで、苗立ちと除草効果の安定が期待できます。これらの取り組みは、担い手農家間の播種機等、機械の貸借により実施されており、今後の波及に期待します。



レーザーレベラーによる均平作業の実演会

(2) 大麦の省力栽培技術の確立

大麦の安定生産には、排水の徹底が欠かせません。また、近年冬期の降水量が多く、適期播種に苦労しているのが現状です。

そこで耕耘から畝立て、播種まで一工程でできる「耕耘畝立て同時播種栽培」を実証しました。この技術の導入で、適期作業と排水の徹底が可能になります。

また、27年から緩効性被覆肥料の実証に取り組んでいます。2年間の実証結果から収量、品質ともに向上する結果となりました。

新肥料は窒素成分含量が高く、施用量は従来の肥料より少なくなり省力化も図れるため、29年産から栽培暦に採用されました。今後も栽培技術の見直しで、安定生産に繋がる情報を提供していきます。



畝立て同時播種栽培実証



麦の現地研修会

未来へ引き継ぐ 岡山の宝

— マスカット・オブ・アレキサンドリア130周年 —

倉敷市船穂町農業後継者クラブ（倉敷市）

マスカット・オブ・アレキサンドリア（以下マスカット）が岡山県に導入されて130周年を迎えることから、船穂町農業後継者クラブ（23名）では、船穂のマスカットを積極的にPRすることを今年のプロジェクト活動としました。マスカット栽培は減少傾向ですが、船穂町では新規参入者も含め多くのクラブ員が、加温マスカット栽培に取り組んでいます。130周年を機に「船穂産マスカットを更に盛り立てていこう！」という気持ちが一体となって動きました。

主な活動

（1）試食販売

千疋屋日本橋店、伊勢丹新宿店、二子玉川高島店、北慶あべのハルカス店、天満屋岡山店、イオンモール加西北条店

（2）食育活動

倉敷市船穂町内の小中学校、幼稚園、保育園

（3）各種イベントへの参加

東日本チャリティ「つながるマルシェ in 岡山」

倉敷市保健所主催「食育フェア」

高梁川流域経済成長戦略会議主催「ぼっけーうめえ農マルシェ in 吉備サービスエリア」

日本バーテンダー協会「カクテル・パーティー in 倉敷」

（4）マスコミ等対応

テレビ瀬戸内「県政報道番組未来へ引き継ぐ、岡山の宝」、RSKラジオ、RSKテレビ、雑誌「dancyu」

（5）その他

加工業者とタイアップ商品の開発、全日空ホテルへマスカット提供「マスカットパフェ」

船穂町ぶどう部会のぶどう祭りでマスカットの

カラーゲンゼリー、うちわ配布

J A 岡山西農業祭りで「ぶどうカレー」販売

岡山マラソンでマスカットPR



マスカット樹の展示準備



幼稚園でのマスカット大会の様子

一年を振り返って 倉敷市、J A の支援・協力を得て、ポスター、のぼり、パンフレット、うちわ等を作成することができ、PR活動を効果的に進めることができました。栽培管理が忙しい中、クラブ員全員が積極的に参加し団結力が高まりました。

カ入れています！

美味しいシャインマスカットを消費者に

J A 岡山西船穂町ぶどう部会（倉敷市）

「シャインマスカット」は、果樹試験場安芸津支場（現農研機構果樹研究所ブドウ・カキ研究拠点）において、「安芸津21号」に「白南」を交雑して育成された品種で、平成15年に登録されました。糖度が高く、無核化が可能なことから、全国的に栽培が拡大しています。また、脱粒しにくく、日持ちが良いことから、輸出にも利用されるなど高単価で取り引きされています。

一方、加温栽培では、若木から果粒肥大は良好ですが、糖度の上昇が遅延する樹が発生し問題となっています。

普及指導センターでは、結果量、房の大きさは勿論のこと、部会と協力して一層高品質なシャインマスカットを安定生産するため多くの試験を行っています。その1つとして果粒軟化期から反射マルチ敷設実証を行いました。

その結果、糖度が高まる傾向を確認できたため、引き続き導入面積を拡大して実証を行う計画です。



反射マルチを敷設した状況

もも新型選果機導入！

J A 岡山西玉島北園芸協会もも部会（倉敷市）

県下でいち早く糖度センサー選果機を導入していましたが、より収益力の高い産地体制を確立するため、28年から適熟果の選果ができるフリートレー式選果機を導入し、新しい出荷体制で高品質のももが消費者へ届けられるものと大きな期待が寄せられています。

出荷規格の見直し、安全・安心なもも生産のためのGAPの取り組みも本格化しました。

また、経営の安定化と作業分散のため、「おかやま夢白桃」以降、9月中旬の「恵白」までの晩生品種の生産量拡大を目指す等、販売力の強化やブランド化の取り組みを進めています。



フリートレー式選果機

夏は白桃、秋も白桃、冬にも白桃

きびじ総社ピーチ・ブランディング協議会（総社市）

総社市には、吉備路もも出荷組合、総社もも生産組合の2組合があり、連携組織としてブランディング協議会を設立し、吉備路地域のもものブランド化、生産の安定、出荷期間の延長などに取り組んでいます。

当地域は、8月のお盆前後で白桃の出荷は概ね終了しますが、品種構成の見直しと新品種の導入により、継続した長期出荷を目指しています。

しかし、晩生品種は栽培期間が長くなり、気象災害、病害虫の被害などに遭うリスクが高まることから、栽培技術の確立が求められています。

表1 岡山白桃の出荷時期

品種名	8月			9月			10月	11月	12月
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
おかやま夢白桃	■								
白麗	■	■							
瀬戸内白桃		■	■						
恵白			■	■					
試験中		白桃リレー出荷			■				
試験中					■				
冬桃がたり								■	

<夏> 8月出荷白桃の強化

盆前から出荷されるおかやま夢白桃、白麗の後に続く高糖度品種として、瀬戸内白桃、恵白の出荷量増加を目指しています。また、農業研究所で開発された、PEH7号の導入へ向けた実証も始めています。

<秋> 9月出荷白桃の模索

ぶどうやなしなど秋の味覚が出回る時期ですが、白桃の需要も徐々に増えています。この時期のももは、まだ栽培特性が明らかになっていない品種ばかりで、栽培技術の確立が求められています。



晩生品種の食味検討

<冬> 12月出荷白桃の確立

吉備路地域には、「冬桃がたり」と言う12月に出荷される、香りの良い甘いももがあります。栽培が非常に難しく、まだまだこれからの品種ですが、食べた人からは忘れられない味だと高く評価されています。



冬桃がたり出荷箱

力入れています！

「連島ごぼう」の躍進に向けてがんばっています！

JA倉敷かさや東部出荷組合（倉敷市）

「連島ごぼう」は、連島地域の砂地畑で栽培されている、白肌の長～いゴボウです。普及指導センターは、周年出荷に向けた取り組みや連作障害対策、消費者を招いた抜き取り体験等の取り組みを支援しています。最近では各種メディアでも取り上げられることが増え、認知度も徐々に上がってきています。

平成27年から、地域で育まれた伝統と特性を有する農林水産物や食品を独自のブランドとして、国が認証し登録する「地理的表示保護制度（GI）」の運用が始まりました。

平成28年12月7日、「連島ごぼう」が「地理的表示保護制度（GI）」に登録されました。

今後「連島ごぼう」の認知度を高め、更なる躍進を目指した活動が期待されます。



GI登録後初となる
「連島ごぼう」出発式

金時人参、再出発！ 柳井原貯水池内耕作者組合（倉敷市）

倉敷市船穂町柳井原地区は、古くからの金時にんじんと春大根の産地です。平成30年度から始まる小田川合流地点付替え工事に伴い、基盤整備が行われることになりました。普及指導センターでは基盤整備後も高品質な生産物ができるように現在のほ場の土質調査を行いました。水はけの良いほ場と悪いほ場では、品質にかなり違いがでることがわかり、これからの工事の参考となる情報を提供しています。



土質による金時にんじんの品質の違い
(左：水はけが良い 右：水はけが悪い)



土質による春大根の品質の違い
(左：水はけが良い 右：水はけが悪い)

力を入れています！

白ねぎ栽培者が増えています！

J A 岡山西吉備路白ネギ生産出荷組合（総社市）

当組合では、今年度白ねぎ栽培を開始した方を対象に、栽培技術を学ぶ「白ネギ教室」を開催しています。定植や土寄せ等、キーポイントにおいて実演を交えての講習を行っています。

白ネギ教室では先輩栽培者との意見交換により、新規栽培ならではの疑問・不安を解決し、栽培に励んでいます。

本年は、新規栽培者が5名加入し、吉備路の白ねぎ栽培はますます熱くなっています。



白ネギ教室（播種）の様子

スイートピーの生産振興を目指して

J A 岡山西船穂町花き部会（倉敷市）

スイートピーは、低温性の植物ですが日照をととても好む花きで、倉敷市船穂町、玉野市などの県南に産地があり、全国屈指の産地となっています。しかし、近年の温暖化や天候不順の影響を受け、栽培中に蕾が落ちるなどの大きな問題が発生しています。

普及指導センターは、11月18日、倉敷市船穂町に県内の生産者が一堂に会する広域研修会を開催しました。現地視察に加え、栽培上の問題点、担い手確保の取組などについて産地を超えて活発な意見交換が行われました。



熱心に情報交換が行われました



現地視察の様子

力入れています！

農業経営の改善・工夫を応援します

認定農業者・認定志向農業者（倉敷・井笠地域）

認定農業者や認定農業者を目指す農業者を対象に、農業経営の改善につながるように、農業に関する税務や簿記の基礎知識、自分で経営の目標を立てて実践するための分析力を身につける研修会を開催しています。

また、農業経営改善計画や家族経営協定の作成、制度資金に関することなど、個別の経営相談も行っています。お気軽にご参加・ご相談ください。



研修会の様子



専門家と普及指導員が相談にのっています

「初心者講座」で農家の6次産業化、進めます！

6次産業化初心者講座生（倉敷・井笠地域）

農業経営の新たな取り組みとして、6次産業化に関心ある農家を対象に、「6次産業化初心者講座」を開催しました。

受講生は24人で、第1回の講座（8/31）は、加工品製造販売に関する基礎知識と瓶詰め加工方法、第2回（10/25）と第3回（12/14）は、取引先との商談に臨む際のポイントを実演も交えながら学びました。

講座をきっかけに、「魅力ある6次化商品づくり」にむけて、農家の意欲が高まることを期待しています。



桃の瓶詰め加工実習

力を入れています！

就農目指して、がんばれ！ 農業実務研修生（倉敷市、総社市）

倉敷地域では、現在(11月末)10名〔倉敷市(ぶどう:3名、もも:2名、スイートピー:1名)、総社市(ぶどう:1名、もも:3名)〕が、就農を目指して栽培技術等の修得のため、地域の先進農家で農業実務研修を行っています。研修生は、先進農家で栽培技術を学んだり、農業後継者クラブの活動に参加して、地域と交流し、農家として自立できるように日々励んでいます。

今後、さらに7名〔倉敷市(ぶどう:1名、もも:3名)、総社市(ぶどう1名、もも:2名)〕の方が農業実務研修を行う予定になっており、産地の担い手となることが期待されています。



桃の選果をする実務研修生
(右から2番目)

*** 倉敷地域の農家の皆さん、彼らへのご指導、ご鞭撻をよろしくお願いします。**

秦地区の農業研修始動！

秦果樹生産出荷組合（総社市）

秦果樹生産出荷組合は、高品質ピオーネの早期出荷産地として知られています。

しかし、農業者の高齢化による栽培者数の減少により産地力の低下が懸念され、就農希望者の受入を行っています。平成25年、さらに活動をすすめるため、組合に担い手チーム（5名）を作り、遊休園地の中間管理を始めました。

新規栽培者へ引き継ぐことのできるハウス等(60a)が確保できたので、27年度から(県)就農促進トータルサポート事業を活用した農業研修生の受入を開始しています。現在、農業実務研修生1名が研修に励んでいます。

また来年度には、新たな就農希望者が研修をスタートさせる予定です。

普及指導センターは、研修生の円滑な就農と早期経営安定を実現するため、産地と連携しながら支援を行っていきます。



自動ビニール巻き上げ機の調整方法を教わる研修生<中央>

力を入れていきます！

“ウインドレス鶏舎”で安全・安心・安定が加速！

弥高地区（倉敷市玉島陶）

弥高地区は、養鶏5農場、酪農5農場があり県下有数の畜産団地が形成されています。養鶏は全て採卵鶏経営で、飼育羽数は約76万羽と県内の約7.5%を占め、鶏卵の安定供給を担っています。同地区では、効率的で、安全安心な鶏卵生産を図るため、徐々に開放型の鶏舎から閉鎖型の鶏舎、いわゆる“ウインドレス鶏舎”への移行が進んでいます。

この方式は①規模拡大、②労働負担の軽減、③鳥インフルエンザ発生予防、④ハエや臭いの発生抑制、などの効果が期待されています。

最も規模の大きな（有）スカイファームでは、約56万6千羽を飼養していますが、大部分がウインドレス鶏舎で飼養されています。



ウインドレス鶏舎外観（窓がありません！）
—経営効率、環境改善が格段にUP！—

ご存じですか？

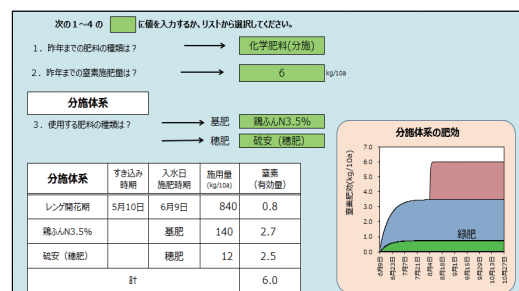
緑肥を利用するお米の施肥設計ソフトが開発されました！

レンゲ稲作などで利用する緑肥は、施肥効果が不安定で施肥が難しいとされてきました。この度、緑肥稲作の安定生産を推進するため、緑肥の窒素肥効予測に基づく施肥設計ソフトが開発されました。

「緑肥の種類と量、鋤き込み時期等」を入力すると、自動的に施肥量が計算されます。吉備路朝日米特別栽培農産物生産組合では、このソフトを活用してレンゲ米を栽培しています。

利用を希望する方は、普及指導センターへお問い合わせください。

水稻栽培における肥料設計





受賞おめでとうございます

岡山県農林漁業近代化表彰

J A 岡山西玉島北園芸協会
ぶどう部会（倉敷市）

ピオーネ主体の産地で、簡易被覆とハウス栽培を組み合わせ、規模拡大と出荷期間の延長を図っています。

技術向上意識が高く、部会員が独自に開発した「トリプルH型整枝」の普及、新技術や新品種の積極的な導入を行っています。

また、産地の担い手確保・育成にも着手し、農業実務研修生の受け入れを行っています。



岡山県農林漁業功労者表彰

（知事表彰）

（農林水産部長表彰）



林 修吾さん
〔早島町〕

次世代フルーツ「紫苑」の普及、高品質安定生産に貢献されました。



石原平二さん
〔倉敷市〕

白肌の長い高品質な「連島ごぼう」のブランド確立に貢献されました。



室山浩二郎さん
〔倉敷市〕

浅原園芸組合のももの生産・販売・担い手育成に貢献されました。



受賞おめでとうございます

第63回矢野賞

田邊孝一 さん（倉敷市）

平成16年の就農時、ももとなしの複合経営でしたが、園地の造成と農地流動化による規模拡大を進め、もも専作へ転換しました。同時に効率的に高品質生産を行うために、植栽距離の確保、低樹高仕立てを意識した園地づくりを行っています。

栽培品種の構成を工夫し、作業分散と安定出荷を実現しているほか、栽培技術の向上に取り組み、草生栽培で弱剪定、摘蕾重視の栽培方法を実践しています。

地域においては、産地の担い手確保や産地のブランド化に取り組むなど、将来のもも産地を担う人材として期待されています。



新しく農業始めます！どうぞよろしく



浅野 健さん
〔倉敷市、スイートピー〕
きれいなスイートピーを咲かせます。



石井 紀明さん
〔倉敷市、ぶどう〕
船穂の名に恥じないぶどう作りを目指します。



犬飼 恒義さん
〔倉敷市、野菜〕
定年帰農し、トマト栽培に挑戦します。



入江 努さん
〔倉敷市、ぶどう〕
消費者に喜ばれるぶどう作りを目指します。



土居 栄太郎・陽子さん

〔倉敷市、もも〕

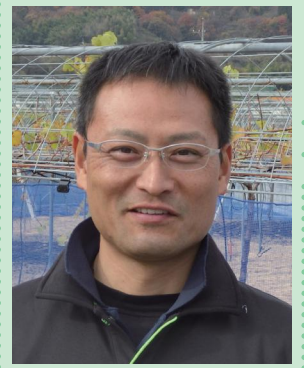
夫婦力を合わせて、もも作りを通じ、地域に貢献したいと思います。



難波 貴之さん

〔倉敷市、もも〕

もも産地の更なる発展のために、頑張ります。



原田 善樹さん

〔倉敷市、ぶどう〕

ブランドを守れる品質の良いぶどうを作ります。



安延 秀治さん

〔倉敷市、スイートピー〕

スイートピーに魅力を感じ、新規参入しました。



山田 健太さん

〔倉敷市、野菜〕

新鮮野菜をお届けします。



渡邊 真志郎さん

〔倉敷市、野菜〕

農産物を使った健康食品の加工に挑戦します。



菅原 龍一さん

〔総社市、なす〕

先輩農家の技術と知恵をしっかりと受け継ぎます。



吉富 政宏さん

〔総社市、ももオリーブ〕

オリーブに挑戦します。

* 平成27年11月～28年10月に新規就農者として市、町から報告のあった人のみを掲載しています（五十音順）。



岡山県備中県民局農林水産事業部 備南広域農業普及指導センター

〒710-8530 岡山県倉敷市羽島 1083 番地

TEL (086) 434-7047 (革新農業推進班)

(086) 434-7048 (担い手・農産班)

(086) 434-7049 (園芸班)

FAX (086) 421-8253

E-mail kura-fukyu@okayama.lg.jp

HP <http://www.pref.okayama.jp/soshiki/95/>

農畜産物生産課

TEL (086) 434-7033 (畜産第一班)



©岡山県「ももっち・うらっち」

備南広域普及

検索